

高校生熟議 2012

～スマートフォン時代の情報モラルと利活用～

第一回 高校生熟議 2012 in 大阪 開催報告書

2012年7月21日（土）

於：大阪ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行大阪支店）

主催・共催

大阪私学教育情報化研究会

安心ネットづくり促進協議会

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

2012年8月3日

第1版

目 次

1. 開催概要.....	1
2. 高校生熟議 2012 in 大阪 第一回リアル熟議 開催概要.....	3
3. 担当.....	7
4. リアル熟議 成果物と終了後の対応.....	7
5. ネット熟議 進行と成果物.....	7

1. 開催概要

名 称：	高校生熟議 ¹⁾ 2012 ～スマートフォン時代の情報モラルと利活用～
主催・共催：	大阪私学教育情報化研究会 ²⁾ 安心ネットづくり促進協議会 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構
後 援：	内閣府（申請中） 総務省 経済産業省（申請中） 文部科学省 一般社団法人全国高等学校PTA連合会 一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会 東京都高等学校情報教育研究会 読売新聞社、全国読売防犯協力会
熟議支援：	文部科学省 「リアル熟議」は教育現場の皆さまに主催いただきます。文部科学省は、テーマに関する基礎資料の提供、参考資料「熟議実践パッケージ熟議虎の巻」や「実施後アンケートテンプレート」の提供、Web サイト熟議カケアイへの実施告知や熟議結果の掲載等の支援を行ってまいります。 (『文部科学省「熟議」に基づく教育政策形成の取組』より)
協賛企業：	グリー株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社インテグラル、株式会社中部トータルサービス
協力団体：	一般社団法人情報教育研究所 一般財団法人日本脳力研究協会 NPO 法人企業教育研究会
協力企業：	株式会社内田洋行、株式会社 BITS PUZZLE、 NHN Japan 株式会社、アルプス システム インテグレーション株式会社 株式会社ガイアックス、株式会社サイバーエージェント、株式会社ミクシィ
開催目的：	高校生熟議は、2011 年度に「高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」としてスタート致しました。初年度の高校生熟議では、大阪、京都、兵庫、奈良から 11 校が参加して、約三ヵ月間に、三回のリアル熟議と文部科学省「熟議カケアイ」上でネット熟議を開催しました。 高校生熟議の目的には二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、「熟議」を通して、初対面の人と話し合うという経験をより、段階的に「考え、まとめる、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二の目的は、社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。今年度は、急速に普及して

	<p>いるスマートフォンについて、高校生がその問題点と対応について熟議をいたします。また、高校生熟議では、通信事業者やサイトの運営事業者、情報モラルに携わる団体等の参加によりキャリア教育としての側面も持ち合わせています。</p> <p>さらに、東京、大阪の代表者による「高校生熟議サミット」を開催し、提言をとりまとめ、「高校生の意見を中央に」と考え、関係省庁にプレゼンテーションを予定しております。</p> <p>平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政府に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年 4 月の小学校を皮切りに、今年度は中学校、来年度は高等学校と全面実施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度の高校生熟議では、スマートフォンに関する熟議から、これまでのケータイによるインターネット利用と比較して新たな課題や問題について、高校生が家庭や学校で如何に取組むべきかを先進的な取組で提案し参考に資する。</p>
<p>高校生熟議 2012 の概要：</p>	<p>高校生熟議 2012</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生熟議 2012 in 東京 ・高校生熟議 2012 in 大阪 ・高校生熟議サミット（東京・大阪の代表者による熟議） ・最終報告会（サミットでの取りまとめを提言として関係府省庁等に報告）
<p>高校生熟議 2012 実行委員会：</p>	<p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会副会長、私立羽衣学園高等学校） ・ 更科幸一（プレゼンピック、私立自由学園高等科） ・ 齋藤長行（青山学院大学 ヒューマン・イノベーション研究センター 客員研究員） ・ 高橋正夫（社団法人全国高等学校 PTA 連合会顧問） ・ 鎌田真樹子（熟議懇談会委員、違法・有害情報相談センターアドバイザー） ・ 佐藤喜信（株式会社内田洋行 教育総合研究所） ・ 石原友信（安心ネットづくり促進協議会 事務局） ・ 吉岡良平（モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 事務局） <p>【スーパーバイザー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平野翔大（第 43 代招待会議実行委員長） ・ 金子真志（高校生熟議 in 大阪 最終報告者、ネット熟議高校生ファシリテーター） <p>【事務局】</p> <p>一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 事務局 吉岡良平 yoshioka_r@ema.or.jp 03-6913-9235 東京都港区西麻布 1-4-38 千歳ビル 3 階</p>

2. 高校生熟議 2012 in 大阪 第一回リアル熟議 開催概要

<p>第一回概要：</p>	<p>第1回は高校生、教員、企業関係者など100名以上の参加者を得て、「スマホって何？」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【リアル熟議】</p> <p>・第一回 「スマホって何？」</p> <p>主旨説明 羽衣学園高校 米田 謙三</p> <p>これからの進め方を紹介、あわせて昨年の流れも紹介しました。</p> <p>開会の挨拶</p> <p>文部科学省スポーツ・青少年局 青少年課 課長 勝山浩司 様 一般社団法人全国高等学校PTA 連合会 会長 相川順子 様</p> <p>第一部 スマートフォンに関する講演</p> <p>企業さんがあらかじめ自分達でテーマと役割を決めて短い時間でそれぞれ重要な内容をプレゼンしてくださいました。</p> <ul style="list-style-type: none">・「スマホ時代の到来」 株式会社ミクシィ (mixi 運営会社)・「スマホとガラケーどう違う？」 株式会社ディー・エヌ・エー (Mobage 運営会社)・「スマホの便利さと課題」 グリー株式会社 (GREE 運営会社)・「スマホに必要なリテラシー」 NHN Japan 株式会社 (ハンゲーム運営会社) <p>第二部：熟議「スマホって何？」</p> <p>学校ごとに自己紹介をして少し緊張感を和らげました。その後グループ分けして移動。グループに分かれ本研究会の教員がファシリテーターとなって、高校生熟議を開始しました。高校生たちは付箋紙にスマホの良い点と良くない点をメモし、意見を出し合っていきます。歓声上がるほど活発な意見交換が出されました。自分たちのケータイへの依存の高さも振り返っていました。付箋紙を模造紙に貼り付けていく中で意見を整理分類して、各グループでまとめて行きました。</p> <p>また企業の方もサポーターとして入っていただきました。専門的な質問が出るとすばやく答えてくださいました。また書記はOB、OGが担当しました。事前からフォームやまとめ方を打ち合わせして滞りなくまとめることができました。</p> <p>第三部：グループ発表</p> <ul style="list-style-type: none">・ グループ発表 (各グループ3分程度) <p>グループごとに上記をまとめた内容を発表して行きました。</p> <p>各グループ スキットや役割分担を決めるなど工夫を凝らした発表でした。</p> <p>講評を千葉県柏市立教育研究所 佐和伸明 様よりいただきました。</p>
---------------	--

	<p>この活動をさらに繋げて欲しいと暖かいお言葉もいただきました。</p> <p>羽衣学園高校 米田謙三 最後に米田先生より次回の予告（NTTさんとドコモさんの企画）や熟議カケアイのサイトのことを昨年参加の金子君より紹介してもらいました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回までの予定、他 ・ネット熟議「熟議カケアイ」について少し紹介 <p>第二部のグループ熟議の詳細は別紙「熟議録」をご参照ください。</p>
「リアル熟議」 参加校：	<p>〔大阪府〕 大阪羽衣学園高等学校、大阪学院大学高等学校、大阪成蹊女子高等学校、大阪府立布施高等学校、大阪府立天王寺高等学校、金光八尾高等学校 大阪市立東高等学校、大阪府立岬高等学校</p> <p>〔奈良県〕 関西中央高等学校、奈良県立王寺工業高等学校、奈良県立奈良朱雀高等学校</p>
日 時：	2012年7月21日（土）13:30-17:30
場 所：	<p>大阪ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行大阪支店） 大阪府中央区和泉町2-2-2 アクセス 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目駅」8番出口より徒歩8分</p>
参加人数：	<p>熟議参加生徒 43人 見学者 62人（教員・教育関係者38人 その他24人） 合計：105人</p>
熟議グループ：	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。（敬称略）</p> <p>【第1班】8人 大阪市立東高等学校 3年 女子 金光八尾高等学校 2年 女子 羽衣学園高等学校 2年 女子 奈良県立奈良朱雀高等学校 2年 男子 大阪府立天王寺高等学校 2年 男子 大阪学院大学高等学校 2年 男子 大阪府立岬高等学校 2年 女子 羽衣学園高等学校 3年 女子</p> <p>〔ファシリテーター〕 大阪府立春日丘高等学校 教諭 吉村 剛志 〔ファシリテーター補助〕 株式会社ミクシィ 井上 真由美 〔書記〕 立命館大学 華井 玲奈</p> <p>【第2班】7人 大阪学院大学高等学校 2年 男子</p>

大阪府立岬高等学校 2年 女子
奈良県立奈良朱雀高等学校 2年 男子
奈良県立奈良朱雀高等学校 1年 男子
関西中央高等学校 2年 男子
羽衣学園高等学校 2年 女子
大阪府立天王寺高等学校 2年 男子
〔ファシリテーター〕
聖母被昇天学院中学校高等学校 教諭 岡本 弘之
〔ファシリテーター補助〕
株式会社ディー・エヌ・エー 西 雅彦
株式会社ディー・エヌ・エー 浅川 美保
〔書記〕
大阪電気通信大学 當山 達也

【第3班】7人

大阪成蹊女子高等学校 2年 女子
羽衣学園高等学校 2年 女子
金光八尾高等学校 2年 女子
金光八尾高等学校 2年 男子
奈良県立奈良朱雀高等学校 1年 男子
大阪学院大学高等学校 1年 男子
関西中央高等学校 2年 男子
〔ファシリテーター〕
関西中央高等学校 教諭 村上 徹
〔ファシリテーター補助〕
グリー株式会社 小木曾 健
グリー株式会社 土蔵 亜由美
〔書記〕
和歌山大学 東野 利貴

【第4班】7人

奈良県立王寺工業高等学校 3年 男子
関西中央高等学校 2年 女子
大阪学院大学高等学校 1年 男子
大阪成蹊女子高等学校 2年 女子
羽衣学園高等学校 3年 女子
大阪府立天王寺高等学校 1年 男子
大阪学院大学高等学校 1年 男子
〔ファシリテーター〕
大阪学院大学高等学校 教諭 松本 宗久
〔ファシリテーター補助〕

	<p>NHN Japan 株式会社 高橋 誠 〔書記〕 宝塚造形芸術大学 中川 芳剛</p> <p>【第5班】7人 関西中央高等学校 2年 男子 奈良県立王寺工業高等学校 3年 男子 大阪府立布施高等学校 1年 女子 羽衣学園高等学校 3年 女子 大阪学院大学高等学校 1年 男子 大阪学院大学高等学校 1年 男子 大阪府立天王寺高等学校 1年 男子 〔ファシリテーター〕 千葉県柏市立教育研究所 佐和 伸明 〔ファシリテーター補助〕 株式会社サイバーエージェント 鈴木 敦子 〔書記〕 奈良佐保短期大学 金子 真志</p> <p>【第6班】7人 大阪府立布施高等学校 1年 女子 羽衣学園高等学校 2年 女子 金光八尾高等学校 2年 女子 奈良県立王寺工業高等学校 3年 男子 羽衣学園高等学校 3年 女子 大阪府立岬高等学校 2年 男子 大阪市立東高等学校 2年 男子 〔ファシリテーター〕 大阪府立布施高等学校 教諭 竹内 健二 〔ファシリテーター補助〕 株式会社ディー・エヌ・エー 金子 哲宏 グリー株式会社 山本 恭範 〔書記〕 大阪府立岬高等学校 教諭 加藤 光</p>
<p>ネット熟議 スケジュール：</p>	<p>第一回「高校生熟議 2012 in 大阪」（リアル熟議）を受け、下記の予定で「高校生熟議 2012 in 東京」の参加者と合同にてネット熟議を開催いたします。</p> <p>2012年9月9日（日）00:00～2012年10月14日（日）24:00 熟議テーマ「ガラケー派、スマホ派？」 文部科学省 政策創造エンジン 熟議カケアイ (http://jukugi.mext.go.jp/) （ネット熟議に参加するには、サイト上で会員登録が必要です。）</p>

3. 担当

大阪私学教育情報化研究会	米田	司会、ファシリテーター・書記手配
熟議懇談会	鎌田	熟議全般、
EMA	吉岡 他	事務局、庶務、受付
安心ネットづくり促進協議会	石原	記録（撮影）
内田洋行	市村	会場設営、機材準備等

4. リアル熟議 成果物と終了後の対応

- 1) 書記は、PC を使い、Word で熟議の内容を記録。
- 2) グループ発表の画面の撮影（又は画像保存）
- 3) リアル熟議終了後、書記が記録した各グループの熟議内容を PDF 化し、発表の画像と併せて、大阪私学教育情報化研究会のサイトにアップデート
- 4) ネット熟議のサイトに大阪私学教育情報化研究会の当該頁のリンク URL を記載
- 5) 第三回終了後、桑崎先生の総評と併せて、大阪私学教育情報化研究会にて取りまとめ
- 6) 総務省、文部科学省へのプレゼンテーション

5. ネット熟議 進行と成果物

- 1) ネット熟議の開始は、事前に鎌田さんより案文を作成の上、文科省に提出
- 2) 定刻に自動でネット熟議開始
- 3) 米田先生は、ネット熟議のファシリテーターとして議論の整理
- 4) 関係者は、高校生を含め、ネット上で議論を継続
- 5) 必要に応じて、グループ毎、個別課題での議論が必要な場合には、スレッドを立てる
- 6) ネット熟議終了後、大阪私学教育情報化研究会にて、ネット熟議の成果を整理の上、次回のリアル熟議にて、前回のリアル熟議と併せて発表